



平成30年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス
 コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 林田 喜一郎
 (氏名) 岩崎 善彦
 TEL 03-6661-7840

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	4,181	0.4	24	57.8	33	45.9	16	58.7
29年9月期第1四半期	4,163	10.9	58	44.8	61	41.7	39	64.0

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 57百万円 (25.1%) 29年9月期第1四半期 76百万円 (47.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	3.23	3.20
29年9月期第1四半期	7.82	7.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	7,332	2,720	37.1
29年9月期	6,675	2,715	40.7

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 2,720百万円 29年9月期 2,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		10.00	10.00
30年9月期					
30年9月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,973	2.6	198	7.4	203	8.9	118	17.1	23.46
通期	17,477	3.4	283	7.9	300	3.0	174	14.8	34.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期1Q	5,285,600 株	29年9月期	5,285,600 株
期末自己株式数	30年9月期1Q	240,865 株	29年9月期	240,865 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期1Q	5,044,735 株	29年9月期1Q	5,044,735 株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式(平成30年9月期1Q 155,500株)が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(平成30年9月期1Q 155,500株)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、平成29年11月14日に公表したものと変更はありません。(当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直し、設備投資の増加等により景気回復基調が継続しており、企業収益も改善しています。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、景気は引き続き堅調な回復基調で推移するものと思われます。しかしながら一方で海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

当社グループの主要顧客であるホテルにおいては、東京・大阪を中心として客室単価は下落する傾向があるものの、客室稼働率は好調に推移しています。また商業施設については、訪日外国人需要と富裕層の高額消費などに支えられ、全体的に景況感が持ち直している状況にあります。金融機関においては、中間決算を経て、メガバンク3行が相次いで人員削減計画を打出すなど、構造改革の動きが顕著となっています。高齢者福祉施設においては、高齢化の進展が急速に進む中であって、行政をはじめとして地域と民間との連携が求められています。

このような環境下にあつて当社グループは、市場全体が堅調に推移したこともあり、売上高については、計画値・前年実績共に上回ることとなりました。利益については、計画値は達成したものの、人件費及びその他経費が前年以上の水準となったことに起因して、前年を下回ることとなりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は4,181百万円（前年同期比0.4%増）、連結営業利益は24百万円（前年同期比57.8%減）、連結経常利益は33百万円（前年同期比45.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16百万円（前年同期比58.7%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績の概況は以下のとおりです。

① スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストランを中心として食器洗浄及び管理業務を全国展開する当社グループの中核事業であり、株式会社セントラルサービスシステム(CSS)が独立してひとつのセグメントを構成します。

当第1四半期連結累計期間においては、既存事業所の高稼働及び臨時業務の拡大、また新たに2件の事業所の受託がスタートしたことで売上高は計画値及び前年を大きく上回ることとなりました。一方で、最低賃金の上昇及び社会保険料の負担増等による人件費のアップ、新規開業に伴うイニシャルコスト等によるその他経費の拡大により費用については、前年を上回る執行となったことから、利益については前年を下回ることとなりました。

この結果、売上高は1,743百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は91百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

② フードサービス事業

当事業は、従業員食堂及びレストラン運営の受託を展開する株式会社センダン(SDN)と食材販売及び受託給食を展開するヤマト食品株式会社(YMT)からなり、フードサービス事業としてひとつのセグメントを構成いたします。

当第1四半期連結累計期間においては、セグメント全体で6件の新規受託案件を受注したことで、売上高については、計画値・前年共に上回ることとなりました。費用については、一部の食材高騰による原価の上昇及び時間外労働の増加による人件費増により計画値及び前年を上回る執行となったことから、前年以上の損失の計上となりました。

この結果、売上高は1,315百万円（前年同期比0.1%増）、営業損失は32百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

③ 空間プロデュース事業

当事業は、東洋メディアリンクス株式会社(TML)、音響特機株式会社(OTK)からなり、映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・販売・施工・管理・メンテナンスまでを全て可能とする空間プロデュース事業として、ひとつのセグメントを構成いたします。

当第1四半期連結累計期間においては、セグメント全体で大型件名を中心として、堅調に納品が進んだことで計画値を上回る売上となりましたが、前年には及びませんでした。原価については、輸入商品の売上拡大等もあり、原価率が概ね計画どおりとなったことから、前年を下回る金額となりました。また、人件費、その他経費についても、売上の増加に見合った水準で執行できたことから、計画値並びに前年に比較して営業損失を大幅に縮小することができました。

この結果、売上高は1,116百万円（前年同期比2.3%減）、営業損失は37百万円（前年同期は営業損失61百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度に対し、657百万円の増加により7,332百万円となりました。その主因は、現金及び預金の増加177百万円、受取手形及び売掛金の増加175百万円及び仕掛品の増加141百万円などによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度に対し、652百万円の増加により4,612百万円となりました。その主因は、支払手形及び買掛金の増加177百万円及び短期借入金の増加450百万円などによるものであります。

純資産は、5百万円増加し、2,720百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当期の連結業績予想は、平成29年11月14日に公表したのから変更はありません。(当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,088,039	1,265,738
受取手形及び売掛金	1,931,355	2,107,279
商品及び製品	372,986	396,035
仕掛品	26,186	167,531
原材料及び貯蔵品	38,274	53,829
未収還付法人税等	60,345	102,657
繰延税金資産	88,962	74,550
その他	109,205	85,862
貸倒引当金	△4,260	△3,482
流動資産合計	3,711,093	4,250,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,010,668	1,063,281
減価償却累計額	△527,387	△535,161
建物及び構築物 (純額)	483,281	528,120
土地	1,233,838	1,233,838
その他	169,142	178,442
減価償却累計額	△124,724	△129,028
その他 (純額)	44,417	49,414
有形固定資産合計	1,761,538	1,811,373
無形固定資産		
のれん	112,711	108,583
その他	93,576	104,336
無形固定資産合計	206,287	212,920
投資その他の資産		
投資有価証券	612,930	678,152
その他	383,257	380,222
投資その他の資産合計	996,188	1,058,374
固定資産合計	2,964,013	3,082,669
資産合計	6,675,107	7,332,671

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,103	745,494
短期借入金	650,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	221,290	205,890
未払金	739,828	837,955
未払法人税等	26,968	6,849
賞与引当金	150,653	60,448
その他	392,695	490,481
流動負債合計	2,749,540	3,447,119
固定負債		
長期借入金	865,000	790,000
繰延税金負債	4,961	7,932
退職給付に係る負債	263,567	265,464
株式給付引当金	16,214	16,214
長期未払金	22,544	22,544
資産除去債務	9,319	9,367
その他	28,766	53,526
固定負債合計	1,210,374	1,165,049
負債合計	3,959,914	4,612,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	279,306	279,306
利益剰余金	2,017,628	1,981,910
自己株式	△99,799	△99,799
株主資本合計	2,590,698	2,554,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,494	165,521
その他の包括利益累計額合計	124,494	165,521
純資産合計	2,715,192	2,720,502
負債純資産合計	6,675,107	7,332,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,163,067	4,181,216
売上原価	3,432,329	3,470,957
売上総利益	730,738	710,259
販売費及び一般管理費	672,538	685,723
営業利益	58,200	24,535
営業外収益		
受取利息	295	375
受取配当金	3,234	3,557
受取賃貸料	4,410	4,747
その他	10,345	10,072
営業外収益合計	18,286	18,752
営業外費用		
支払利息	9,167	7,334
支払手数料	823	819
為替差損	4,520	1,394
その他	625	578
営業外費用合計	15,136	10,126
経常利益	61,349	33,161
税金等調整前四半期純利益	61,349	33,161
法人税、住民税及び事業税	10,520	9,689
法人税等調整額	11,403	7,188
法人税等合計	21,923	16,877
四半期純利益	39,425	16,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,425	16,283

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	39,425	16,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,109	41,027
その他の包括利益合計	37,109	41,027
四半期包括利益	76,535	57,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,535	57,311
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	1,701,581	1,313,377	1,140,728	4,155,688	7,379	4,163,067	—	4,163,067
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	300	475	1,634	2,410	69,466	71,876	△71,876	—
計	1,701,881	1,313,853	1,142,363	4,158,098	76,845	4,234,943	△71,876	4,163,067
セグメント利益 又は損失(△)	121,149	△12,833	△61,672	46,643	8,100	54,743	3,456	58,200

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額3,456千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	1,743,442	1,315,430	1,114,152	4,173,026	8,190	4,181,216	—	4,181,216
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	300	115	2,301	2,716	72,753	75,469	△75,469	—
計	1,743,742	1,315,546	1,116,454	4,175,743	80,943	4,256,686	△75,469	4,181,216
セグメント利益 又は損失(△)	91,752	△32,413	△37,152	22,187	7,408	29,595	△5,060	24,535

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△5,060千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、経営上の意思決定を行う区分を基礎とするマネジメント・アプローチをさらに徹底するため、当第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しております。

これにより、従来、「スチュワード管理事業」としていたセグメント区分を「スチュワード事業」へ、「総合給食事業」及び「食材販売事業」を「フードサービス事業」へ、さらに、「音響・放送機器等販売事業」及び「映像・音響機器等販売施工事業」を「空間プロデュース事業」へと変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益又は損失を当年度の表示に合わせて組替再表示しております。